## **ELECTRIC MOTOR**

Patent Number: JP3203549 Publication date: 1991-09-05

Inventor(s): TAKEKOSHI YUKINORI; others: 02
Applicant(s): MITSUBISHI ELECTRIC CORP

Application Number: JP19890341602 19891227

Priority Number(s):

IPC Classification: H02K5/10; H02K1/12; H02K1/16; H02K5/02

EC Classification:

Equivalents: JP1992822C, JP7024451B

#### Abstract

PURPOSE:To improve insulation and corrosion resistance by providing drain holes in insulating resin for coating one end surface of an inner ring magnetic pole part and in an insulating cover mounted on the other end surface.

CONSTITUTION:Insulating resin 11b, integrally formed on an insulating part 10, is provided on the end surface side of an inner ring magnetic pole part 7. Two or more drain holes A11c are provided in this insulating resin 11b being positioned between a main coil 18 and the resin 11b. Further an insulating cover 15 is removably mounted while penetrating through a rotary shaft 14 on the other end surface of the inner ring magnetic pole part 7. Two or more drain holes B15b are provided in this insulating cover 15 being positioned between an auxiliary coil 19 and the cover 15. In this way, insulation and corrosion resistance of an electric motor can be ensured because a drain, generated in a stator, is discharged through the drain holes without adhering to the main and auxiliary coils.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

⑪特許出願公開

## ⑩ 公 開 特 許 公 報 (A) 平3-203549

| ⑤Int. Cl. ⁵                         | 識別記号             | 庁内整理番号   | 43公開 | 平成3年(1991)9月5日 |
|-------------------------------------|------------------|--|------|----------------|
| H 02 K 5/10<br>1/12<br>1/16<br>5/02 | B<br>A<br>Z<br>A | 7254-5H<br>7254-5H<br>7254-5H<br>7254-5H<br>寒杏請求 | 未請求: | 請求項の数 1 (全6頁)  |

ᡚ発明の名称 電動機

②特 願 平1-341602

②出 願 平1(1989)12月27日

⑫発 明 者 竹 腰 幸 典 岐阜県中津川市駒場町1番3号 三菱電機株式会社中津川 製作所内

⑩発 明 者 桐 修 一 岐阜県中津川市駒場町1番3号 三菱電機株式会社中津川

製作所内

⑫発 明 者 鈴 村 幸 久 岐阜県中津川市駒場町1番3号 三菱電機株式会社中津川

製作所内

⑪出 願 人 三菱電機株式会社 東京都千代田区丸の内2丁目2番3号

⑩代 理 人 弁理士 大岩 増雄 外2名

明細書

## 1. 発明の名称

## 電動機

## 2. 特許請求の範囲

外輪部を形成する外輪ヨーク部と、この外輪ヨ ーク部にスロットを有して複数の磁振片が連結さ れてなる内輪磁極部が嵌合されて形成された固定 子鉄心と、この固定子鉄心の内輪磁極部を覆う絶 縁部と、この絶縁部と一体に成形され上記内輪磁 極部の一方の端面を覆い内輪磁極部中心と連通す る第1の回転軸貫通口を有し漏斗状に形成された 絶縁樹脂と、上記磁極片上に上記絶縁樹脂と一体 にピンを有して突設された巻枠柱とを設け、上記 内輪磁極部に回転子を挿入し上記第1の回転軸貫 通口と連通する第2の回転軸貫通口を有し漏斗状 からなる絶縁カバーを上記内輪磁極片の他方の端 面に装着し、端末が上記ピンにからげられるコイ ルを上記スロット間に井げた状に巻回してなる固 定子において、上記絶縁樹脂と絶縁カバーとにド レン穴を設けたことを特徴とする電動機。

#### 3. 発明の詳細な説明

## 〔産業上の利用分野〕

この発明は、外輪ヨーク部と内輪磁極部とに分割された固定子鉄心に回転子を挿入し、コイルを内輪磁極部に巻回した電動機に関するものである。
「従来の技術」

従来、この種の電動機としては第7図および第 8図に示すように外間に複数の磁極片(1)を突設して設けられた固定子(2)の外壁に絶縁樹脂が施され、この絶縁樹脂と一体に上記磁極片(1)に上下方向に巻枠柱(3)が同ピッチ、同形状に配設され回転子(4)が固定子(2)に挿入されて後、コイル(4a)が井げた状に磁極片(1)間に巻回されたものが知られている(例えば、実顧平1-76975号公報参照)。

## 〔発明が解決しようとする課題〕

上記のような従来の電動機では、固定子(2)内に回転子(4)が挿入され、コイル (4a)が磁極片(1)間を巻回されているが、この固定子(2)内にて温度変化によりドレンが発生した場合、外部へ排出するドレン穴がない為、コイル (4a)にドレンが付き、絶

緑性が劣化し耐食性が悪くなるという課題があった。

この発明は係る課題を解決するためになされた もので、固定子内にて発生するドレンに対しドレン穴を設け、ドレン穴より外部へドレンを排出し 絶縁性、耐食性の良い電動機を得ることを目的と する。

## (課題を解決するための手段)

た状に巻回してなる固定子において、上記絶縁倒脂と絶縁カバーとにドレン穴を設けたことより、固定子鉄心内にて発生するドレンがドレン穴より排出される。

## 〔実施例〕

上記内輪磁極部の他方の端面に装着し、端末が上記ピンにからげられるコイルを上記スロット同に井げた状に巻回してなる固定子において、上記絶縁樹脂と絶縁カバーとにドレン穴を設けたものである。

#### 〔作用〕

同時に成形された巻枠柱で、上記磁種片(9)の両端 面に位置し、内輪磁極部171中心側に頂点を設けた 三角柱よりなり巻線用ガイドとなる。なお、内輪 磁極部のの一方の端面側には上記絶縁部向にて一 体で漏斗状に形成され、内輪磁極部の中心と連通 する中央に方形からなる第1の回転軸貫通口(11a )を設けた絶縁樹脂(11b)が設けられている。(11c )はこの絶縁樹脂に突設されたドレン穴Aで、複 数個設けられ後述される主コイルが配設された場 合、主コイル間に位置し、ドレンが上記主コイル に付くことはない。 (12)はピン本体で、上記巻枠 柱の先端に挿入されたピン(12a)およびコモン部( 12b)とから構成され、後述される主コイルおよび 補助コイルに導通される、(13)は上記固定子(7)内 に設けられる回転子で、中央に回転軸 (14)が嵌通 されている。(15)は上記内輪磁極部(7)の一方の端 面に回転軸 (14)を貫通して着脱自在に装着される 絶縁カバーで、上記第1の回転軸貫通口(Ila)と 連通され、円形からなる第2の回転軸貫通口(15a )を有し単独にて漏斗状に成形され、これにより

回転子(13)の導体部であるエンドリング(16)は外 部と絶縁される。(15b)はこの絶縁カバーに突設 されたドレン穴Bで、複数個設けられ、内輪磁極 部(7)に装着時後述される補助コイル間に位置し、 ドレンが補助コイルに付くことはない。(17)はコ イルで、主コイル(18)と補助コイル(19)とにて構 成され、例えば自己融着性を有するマグネットワ イヤよりなる。(18a)は 主コイル(18)の巻始め部、 (18b) は主コイル(18)の巻終り部、(19a)は補助 コイル (19) の巻始め部、(19b) は補助コイル (19) の巻終り部、(20)は絶縁用ウエッジで、上記コイ ル(17)と上記外輪ヨーク部(5)との絶縁をなすもの で、外輪ヨーク部(5)とコイル(17)との隙間に嵌着 される。(21)は上記回転軸(14)に装着される軸受 で、例えば玉軸受よりなる。(22)は外位で、フレ ーム(23)およびブラケット(24)からなる。(25)は このブラケットに設けられたピン用貫通穴で、上 記ピン本体(12)が突出される。(26)はこのピン用 貫通穴に挿通される脚部(27)を有する端子台で、 例えば絶縁性樹脂よりなり、上記脚部(27)はピン

本体 (12) が所定長さに突出されるよう開口が設けられている。 (28) はこの端子台の周端に設けられたコード溝、 (29) は上記端子台 (26) 上に配設された電子部品で、例えばコンデンサ (29a)、温度ヒューズ (29b) 等からなり、所定形状にて接続されたリード線 (30) がその先端が上記ピン本体 (12) と直交するように配設されている。 (31) は電源ムキで、その先端が所定寸法のみ接続用に皮皮可能で、その先端が所定寸法のみ接続用に皮を可能で、その先端が所定寸法のみ接続用に皮を可能で、その先端が所定寸法のみ接続用に皮を調整を表し、さらにタレ防止の為、紫外線硬化性が付与されている。 (33) はカバーで、一方に開口を設け、有広状からなり例えば金属性よりなり端子台 (26) およびパテ (32) 硬化部の保護の為、ブラケット (24) に嵌着される。

上記のように構成された電動機において、その組立ては絶縁部のおよびピン本体 (12) が設けられた内輪磁極部(7) に回転軸 (14) を第1の回転軸貫通口 (11a) に挿通させるようにして回転子 (13) が収納され、絶縁カバー (15) が回転軸 (14) に挿通されて、エンドリング (16) が絶縁される。次に多軸制

御のできるフライヤータイプの巻線機(図示せず) により所定のピン本体(12)にコイル(17)をからげ ることにより接続し、回転子(13)を周回するよう にスロット(8)間を井げた状に巻回後、その巻終り 部分を別の所定のピン本体(12)にからげ主コイル (18)が下部に形成される。そして、同様にコイル (17)を上記主コイル (18)の上方に位置するように スロット四間を井げた状に巻回し、からげること により補助コイル(19)が形成される。この場合、 第4回に示すように補助コイル(19)の条件り部(1 9b) は主コイル (18)の巻終り部 (18b) であるから げ部分へ重ねて接続され、コモン部(12b) が形成 される。主コイル (18)の巻始め部 (18a)と補助コ イル (19) の 券 始め 部 (19a)とが接続されたピン本 体(12)をディップ半田することにて主コイル(18) 及び補助コイル (19)とがピン (12a)に導通される. なお、上記コモン部はからげたのみで、導通して いない為、上記ピン (12a) 間に所定電圧を印加し 耐圧力をチエックすることにより、主コイル(18) と補助コイル(19)との相同耐圧検査がなされる。

この後、上記コモン部(12b)がディップ半田され、 内輪磁極部(7)が外輪ヨーク部(5)の切欠き部(6a)を 介して圧入により嵌着され、第3図に示すように コイル(17)と外輪ヨーク部57間を絶縁するためウ エッジ(20)が嵌着される。次に、コイル(17)を加 熱し自己融着性のマグネットワイヤーの融着層を 溶融しコイル (17) 間を固着し、回転軸 (14) に軸受 (21)およびE型止め輪(図示せず)を装着した後、 固定子(6)をフレーム(23)に圧入、ブラケット(24) が例えばかしめあるいはネジ等により結合される。 一方で、端子台(26)にコンデンサ(29a)、温度と ューズ (29b) 等のリード線(30)を所定形状に成 形して装着される。そしてブラケット(24)に脚部 (27)をピン用貫通穴(25)に挿入することにて装着 される。この場合、端子台(26)の脚部(27)に内輪 磁極部(7)の巻枠柱(11)部分が挿入され、位置決め、 固定され、リード線(30)先端とピン本体(12)とが 直交して重合する部分に電極を当てスポット溶接 がされることにより接合される。次に、ピン本体 (12)に検査用の接触子(図示せず)を当接させ、

電圧を印加して所定項目のモータ性能検査を実施する。そして、端子台(26)上に電源コード(31)が配設され、その先端部分がピン本体(12)と直交するように仮止めされ、スポット溶接により接合される。さらに、端子台(26)上にパテ(32)が充填されてリード線(30)等の充電露出部の絶縁および電源リード(31)の固定がなされる。最後に、カバー(33)が電源コード(31)を外部に引き出した後ブラケット(24)に嵌着される。

#### 〔発明の効果〕

この発明は以上説明したとおり、外輪部を形成する外輪ヨーク部と、この外輪ヨーク部にス内部にス内輪ヨークを有して複数の磁極片が連結されてなる内輪でを有して複数の形成された固定子鉄心の内輪磁極部を覆う絶縁部と一体に成形され上記内輪磁極部の一方の破ったをでは、上記内輪磁極に関いて、上記内輪磁極部に回り、上記内輪磁極部に回り、上記内輪磁極部に回り、上記内輪磁極部に回り、上記内輪磁極部に回り、上記内輪磁極部に回り、上記内輪磁極部に回り、

脂、(11c)はドレン穴A、(12)はピン本体、(13) は回転子、(15)は絶縁カバー、(15b)はドレン穴 B、(15a)は第2の回転軸貫通口である。

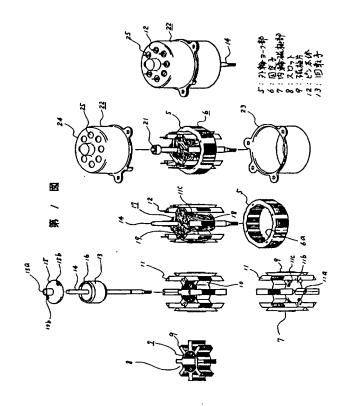
代理人 大岩増雄

転子を挿入し上記第1の回転軸貫通口と連通する第2の回転軸貫通口を有し漏斗状からなる絶縁か
パーを上記内輪磁極片の他方の端面に装着し、中
末が上記ピンにからげられるコイルを上記スマット間に井げた状に巻回してなる固定子において、上記絶縁倒脂と絶縁カバーとにドレン穴を設けたことより、固定子内にて発生するドレンがドレン穴より排出され、電動機の絶縁性と耐食性とが確保でき、電動機の品質がより向上される。

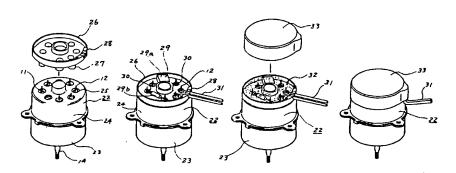
#### 4. 図面の簡単な説明

第1 図および第2 図はこの発明の一実施例を示す組立斜視図、第3 図は同じくウエッジの取り付け斜視図、第4 図は同じく電動機のコイル結線図、第5 図は同じく絶縁カバーと内輪磁極部の斜視図、第6 図は同じく固定子の斜視図、第7 図は従来の内輪磁極部を示す斜視図、第8 図は従来の固定子を示す斜視図である。

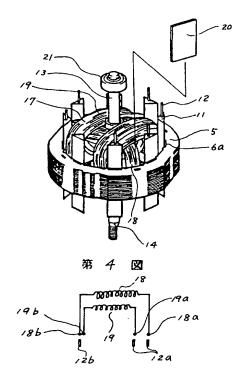
なお、(5) は外輪ヨーク部、(6) は固定子、(7) は内 輪磁極部、(8) はスロット、(9) は磁極片、(0) は絶縁 部、(11a) は第1の回転軸貫通口、(11b) は絶縁側



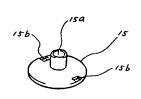
第 2 図

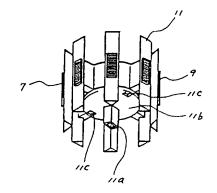


## 第3図



# 第5図

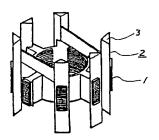


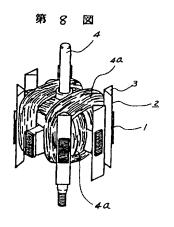


11a:第1a回車軸貫通口 11b:絶談樹脂 11c:ドレン穴A 15:絶縁カバー 15b:ドレン穴B 15a:第2a回転軸貫通口

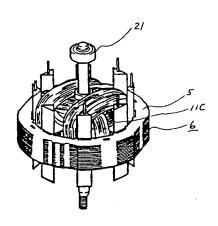
# 特開平3-203549 (6)

第 7 図









# This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

# **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

| ☐ BLACK BORDERS   |
|---|
| ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES                 |
| ☐ FADED TEXT OR DRAWING                                 |
| ☑ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING                  |
| ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES                                 |
| ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS                  |
| GRAY SCALE DOCUMENTS                                    |
| LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT                     |
| ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY |
|   |

# IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

OTHER: \_\_\_\_

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.